

発

掘

山口遺跡・下ノ内浦遺跡（仙台市）

早風遺跡（加美町）

令和7年度 宮城の発掘調査パネル展

彦右工門橋窯跡（大衡村）

熊野那智神社経塚群（名取市）

調

査

お問い合わせ 宮城県教育庁文化財課 埋蔵文化財第一班 TEL022-211-3684

ごあいさつ

宮城県には、旧石器時代から明治時代までの遺跡が約6,200箇所あります。これらは私たちの祖先が残した貴重な遺産であり、大切に保存し後世に伝えていくことが私たちの責務と考えております。

県内では毎年約400件程度の発掘調査が県や各市町村の教育委員会、大学などの教育機関によっておこなわれています。今回は令和7年度におこなわれた調査のなかで、特に注目すべき8つの遺跡の成果についてご紹介します。

県教育委員会では、遺跡の保存と活用に全力をあげて取り組んでおります。この機会に遺跡に親しんでいただき、地域の遺跡や文化財保護への理解を深めていただくきっかけになれば幸いです。

今回の展示にあたって快く御協力くださいました各教育委員会・機関に対し、この場をお借りして厚くお礼申し上げます。

宮城県教育庁文化財課

紹介する遺跡の位置と時代

時代・年代と主な出来事

① 旧石器時代

- 約38,000年前 後期旧石器時代が始まる

② 縄文時代

- 約16,000年前 土器・弓矢が出現する
- 約5,000年前 三内丸山遺跡（青森市）で集落が営まれる
- 約4,000年前 東北北部で環状列石が多くつくられる

③ 弥生時代

- 約2,400年前 東北地方で米作りが始まる

④ 古墳時代

- 400年頃 豪族が盛んに古墳を造る

⑤ 飛鳥時代

- 607年 推古天皇、小野妹子を隋に遣わす（遣隋使）
- 645年 大化の改新

⑥ 奈良時代

- 710年 平城京（奈良市）に都を移す
- 724年 多賀城が創建される
- 741年 諸国に国分寺の建立が命じられる
- 752年 東大寺の大仏が完成する
- 780年 蝦夷の反乱で多賀城が火災にあう

⑦ 平安時代

- 794年 平安京（京都市）に都を移す
- 869年 貞観大地震で多賀城が大きな被害を受ける
- 894年 遣唐使の派遣が停止される
- 1167年 平清盛が太政大臣となる

⑧ 鎌倉時代

- 1192年 源頼朝が征夷大将軍になる
- 1274・1281年 文永・弘安の役（元寇）が起こる

⑨ 室町時代

- 1338年 足利尊氏が室町幕府を開く。
- 1467年 応仁の乱が起こる

⑩ 安土桃山時代

- 1590年 豊臣秀吉が天下を統一する
- 1600年 仙台城の築城が始まる

⑪ 江戸時代

- 1603年 徳川家康が江戸幕府を開く
- 1611年 慶長三陸地震津波で仙台平野が大きな被害を受ける

⑫ 明治時代

- 1868年 明治維新
- 1876年 明治天皇が東北を巡幸する。



①一子沢遺跡

②山口遺跡・下ノ内浦遺跡

③南小泉遺跡

④加美町

⑦大衡村

②仙台市

③多賀城市

①村田町

⑧名取市

⑤岩沼市

④早風遺跡

⑤原遺跡

⑥西沢遺跡

⑦彦右工門橋竊跡

⑧熊野那智神社経塚群

外枠の色は、それぞれの時代の長さを表しているんだね！
こうしてみると、旧石器時代と縄文時代って、とても長いことがわかるね！

れんげもんちゃん

宮城県生まれの、瓦の妖精。
頭の軒丸瓦（蓮花文）がチャームポイント。

ちようさいんさん

宮城県文化財課の職員。
れんげもんちゃんの疑問に答えてくれる。

